**日本地震学会　A助成（海外渡航旅費）助成金申請書**

申請日 　　年　　　月　　　日

**１．申請者**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 　 | 年齢 | 満　　歳（申請締切日現在） |
| 所属機関 |  | 職名又は学年 |  |
| 住所 | 　 |
| 電話番号 | 　 | E-mail |  |

**２．推薦者（申請者が学生の場合のみ）**(1)

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 　 |
| 所属機関 | 　 | 職名 | 　 |
| 電話番号 | 　 | E-mail | 　 |

1. 推薦者には成果報告書のチェックを依頼する場合がある．その旨了解を得ること．また本申請書提出時にccすること．

**３．渡航目的・期間**

|  |  |
| --- | --- |
| 渡航目的(2) | 　 |
| 渡航期間(3) | 　　　　　　年　　月　　日　（日本発）　～　　年　　月　　日　（日本着） |
| 備考 | 　 |

1. 会議参加の場合，名称，開催都市，開催期間，および会議における申請者の役割，重要性について記す
2. 全日程に参加可能となる必要最小限の期間以内とする. やむを得ぬ理由でそれを超える場合は，理由を備考欄に記す

**４．助成金申請内容**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国内交通運賃 | 円  | 国外交通運賃(4) | 円  |
| 宿泊費(5) | 円  | 参加登録費(6) | 円  |
| 日当(7) | 円  | 合計 | 円  |
| 算出根拠(8) |  |

1. 航空運賃には諸税，燃油追加運賃などを含む．現地交通費は助成対象外とし日当で賄うものとする．ただし，合理的な理由により現地交通費が日当額を超える場合はその限りでない
2. 会議の組織委員会等が用意する最低宿泊費を基準とする．但し上限を12,000円,学生は6,000円とし,宿泊費がこれを超える場合はこの上限額までを支給する
3. 投稿料を含めてよい
4. 現地滞在日数ｘ2,000円とする
5. 移動経路，添付する証拠書類との関係，外貨換算レートなどについて説明する

**５．過去の渡航歴等**

|  |  |
| --- | --- |
| 本渡航に関する他からの助成（申請中を含む） |  |
| 本助成金による過去の渡航歴(9) |  |
| 過去3年以内に出席した海外の会議等(9) |  |

1. 名称，開催都市，開催期間，渡航目的について記すこと
	1. **主要研究業績**(10)

|  |
| --- |
|  |

1. これまでの学会発表，学術雑誌等に発表した論文のうち主要なもの，各5件以内について記す．学会発表は著者・題名・会議名称・開催都市・発表年月，論文は著者・題名・雑誌名・発表年・査読の有無を記す．学生は査読中の論文を含めてよい．

**７．論文発表内容の該当分野における重要性（会議にて論文発表を行う場合のみ）**

|  |
| --- |
|  |

**８．添付書類**

以降のページに下記の書類を添付すること（形式，ページ数自由）

・航空運賃の根拠書類（見積書など）

・滞在費，参加登録費および投稿料の根拠書類（会議のwebページのコピーなど）

・論文発表の場合，発表内容の要旨（応募時は要旨案でも良いが、確定後、再提出すること）